



ご夫婦と父親の三人が暮らす住宅。

敷地は、間口4.5m奥行き13mの細長い形状で、周囲には境界線に沿って、隣家が建ち並ぶ。仮足場が最低限設置可能なスペースを残し、建物は建蔽率一杯に計画した。

外周部に柱のない鉄骨造にし、窓の開け方と、家具と柱のあり方を工夫することで、開放感のあるスッキリした空間にした。

RC部分を蓄熱体として利用した床暖房を採用し、緩い階段でつながった住宅を、冬でも快適な環境にしている。

